

登録コード	FSJ15500	開講年度	2026				
授業題目	植物工学特論				担当教員	田口 悟朗	
英文授業名	Topics in Plant Biotechnology				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・5時限		
対象学生	応用生物科学分野 1年生						
講義室	繊維 2 7 番講義室		授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				⇔	【授業の達成目標】	
	26FS加・繊維学						
	【専攻】基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力				⇔	基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力	
	【専攻】専門分野における深い学識に基づく，卓越した実践的技術力および研究能力				⇔	専門分野における深い学識に基づく，卓越した実践的技術力および研究能力	
(2)授業の概要	各回とも、教員からの話題提供に対し、順次意見を述べるとともに、全般の考察を行う。 また、各自に簡単な発表とレポートを課す。						
(3)授業計画	この講義は100分授業で実施します。 予め、バイオテクノロジーに関連したキーワードと課題を示すので、各自準備しておくこと。 講義中、積極的に発言するように。						
(4)成績評価の方法	授業への参加態度（積極性）およびレポートの状況を加味して評価する。						
(5)成績評価の基準	各回の課題に取り組み、かつ、きちんとディスカッションに参加していることが合格の条件である。より積極的に参加し、教員や周囲が注目する意見やプレゼンを行った場合、その出来に応じて、秀・優・良の評価が行われる。						
(6)事前事後学習の内容	時間の最後に課題を与え、次の時間に、各自で調べてきたことをもとにディスカッションを行う。						
(7)履修上の注意	特になし。						
(8)質問,相談への対応	授業中及び授業後に質問して欲しい。そのほか、研究室に訪問してもらっても構わない（応用生物科学科4階）。						
(9)授業の形式	毎回、教員からの話題提供に関して各自発言してディスカッションを行う。合わせて、時間の最後に課題を与え、次の時間に、各自で調べてきたことをもとにディスカッションを行う。						
(10)学生へのメッセージ	大学院を修了する時点で、自分自身、「大学院で応用生物科学を学んだ、バイオテクノロジーの専門家」であり、「周囲からもそのように見られること」を意識すること。そのための基本的な知識と基本的な考え方をしっかりと身につけ、周囲に対して自分の意見をしっかりと発信できることが重要である。今回は植物を中心に話を進めるが、植物に限らず、生物全般の知識や考え方を身につけて欲しい。「自分はあまり詳しくないから」というように、消極的に考えている学生の単位は認めない。						
【教科書】	なし。						
【参考書】	指定なし。						